

なにが秘密か それは“秘密”です

国民の目、耳、口ふさぐ 秘密保護法案

安倍政権が国会に提出した特定秘密保護法案。「外交や防衛の話では…」と思ったら大マチガイ。国民の知る権利、表現の自由を侵害する大問題です。

日本共産党

ネットを見てたら 突然逮捕?!



首相や外相、防衛相や警察庁長官など「行政機関の長」が、「これは秘密」と決めたら、どんな情報も、国民の目から隠されてしまいます。しかも、内閣の承認があれば、事実上永久に秘密のままにできるのです。

おそろしいのは、「これは秘密ですよ」と国民には知らされないこと。ネットを見ていて、知らないうちに秘密情報にふれていて、ある日突然逮捕ということも…。こんなことは絶対に許せません。



情報公開を もとめたら 処罰?!



「秘密」をもつ人から情報提供をうけたらダメ。たとえ提供されなくても、そそのかした罪に…。ジャーナリストの取材も処罰の対象になります。政府が「配慮する」といっても、メディアは萎縮し、国民は真実を知る手段を失ってしまいます。

原発情報もマル秘に?!



たとえば福島原発事故。「原発をテロから守る」という口実で、汚染水がどこでもれたかも秘密になりえます。内閣情報調査室も「特定秘密になりうる」とハッキリ認めています。

3・11直後、国は、放射性物質の拡散データを国民に隠しました。いまでも“秘密天国”なのに、このうえ秘密保護法などできたら、国民の目と耳は、完全にふさがれてしまいます。

国会議員も 懲役刑?!



「秘密」をもらした者は、懲役10年です。国会議員も5年の刑です。所属する党にもちかえって議論することもできません。国会を政府の下におき、独裁政治への道をひらく法案は、廃案しかありません。

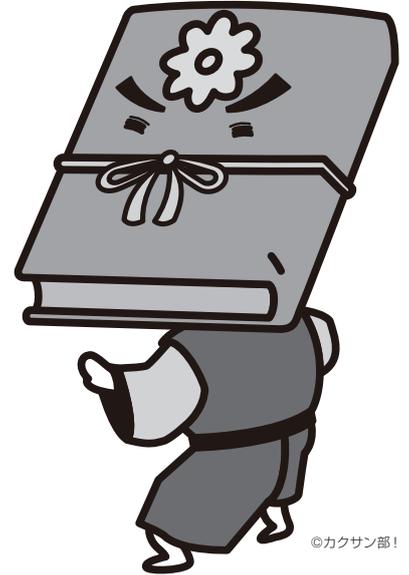
裏面もごらんください→

ねらいは
どこに？

海外で戦争できる 国にするためです

安倍政権は、秘密保護法案を、国家安全保障会議（日本版NSC）設置法案とセットで成立させるといいます。

日本の外交・安全保障政策の「司令塔」となるNSC。そこで、アメリカと軍事戦略・情報を共有するために、アメリカなみのきびしい軍事情報保護の体制が必要に——これが、政府が秘密保護法の制定を急ぐ理由です。ねらいは、アメリカと一緒に海外で戦争する国づくりです。



©カクサン部!

憲法9条を生かした平和日本を!あちよー!
日本共産党カクサン部!憲法担当ボーケン師匠

戦前の「軍機保護法」がふたたび

軍港の近くの公園で酒盛りをしている様子を写真にとった人が、「許可を得ずして水陸の形状を撮影」したのは「軍機保護法違反」だと逮捕された——。こんな無法がまかりとおった戦前の日本。悲惨な侵略戦争に突き進み、おびただしい犠牲者をだしました。二度と、日本を戦争国家にしてはいけません。

反対世論を
急速に高め

日本共産党

廃案においこみましょう

「(秘密保護法がこのまま通ることは)国民の一人としていかなものかと心配」——女優の藤原紀香さんも声をあげています。テレビキャスターら10氏が連名で反対を表明し、日本弁護士連合会、日本ペンクラブも声明を出してい

ます。

日本共産党は、国民の目、耳、口をふさぎ、憲法に保障された民主主義を大もとからこわす秘密保護法案を廃案においこむために、国民のみなさんと力をあわせて全力をつくします。

「秘密保護法」制定に反対する請願署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

〈請願項目〉

1. 特定秘密の保護に関する法律を制定しないこと。

氏 名	住 所